



週報

2016～2017 年度 RI 会長 ジョン・ジャーム
 RI のテーマ 『人類に奉仕するロータリー』
 地区のテーマ 『知恵と元気を』 ガバナー 前嶋修身

国際ロータリー
 第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
 〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
 会長 佐藤圭司 会長エレクト 宮野ふさ子 副会長 小島美恵子 幹事 益子伸明

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
 所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1102 回(9 月 20 日)例会の記録

点 鐘 佐藤圭司会長
 合 唱 我らの生業
 第 2 副 S A A 菊田会員 小林会員
 卓話講師 一般社団法人タコ問題情報センター
 代表理事 渡辺文学様

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34名	25名	71.87%	75.75%

会長の時間

佐藤 圭司 会長



私はミャンマーという国に行ったことはないのですが興味があって、そのミャンマーの事が日経に書かれていましたので、本日は皆様にお伝えしたいと思います。

皆さんご存知だと思いますが、ミャンマーと言えば昔のビルマで、アウン・サウン・スー・チーさんが民主化運動に立ち上がって、最近になってやっとちゃんとした選挙が行われた国です。

日経に『アジアひと未来』-女性が拓く-というシリーズがあります。今回は、今すごく話題になっているミャンマーのインダーという秘境の湖畔で、ある一人の女性が日本と同じ“おもてなし”という言葉を使ってリゾートホテルを運営しているという記事をご紹介します。ミャンマーには大変な時

代があったのですが、再出発してしなやかに頑張っているという内容です。

ミャンマー中部シャン高原には満々と水をたたえるインレー湖があり、少数民族インダーが昔ながらの水上生活を営み、野菜の水耕栽培で生計を立てています。観光客は舟で水上寺院を訪ね、秘境の暮らしを体感します。湖畔では伝統的な腰巻スカート「ロンジー」を身に着けたイン・ミョー・スー（通称：ミスー）が出迎えるという事です。彼女は木立に 40 棟のヴィラが点在する「インレー・プリンセス・リゾート」を運営し、2013 年には米フォーチュン誌などが選ぶ「グローバル女性リーダー賞」を受賞。勃興期のミャンマー観光業への貢献を通じて「自身のビジネス知識を途上国の女性に伝承し、教育した」と高く評価されました。

祖国は旧軍事政権下で長く国際社会から孤立してきました。ミスーは湖畔の小村で生まれましたが、英語を話せる父を欧米からの旅行者がまれに訪ねて来ることもあって、「私たちはなぜこんなに違うのか？」と好奇心が湧いたそうです。

外国への興味は自国への疑問に変わり、1988 年、16 歳の時に学生中心の民主化運動に加わり、その輪の中心にはアウン・サウン・スー・チーがいました。運動は軍に武力鎮圧され、数千人が命を落としたということです。

彼女は「外の世界を見たい」と 18 歳で父の友人を頼って欧州に渡り、フランスでホテル運営を学んでいたところ、父が投獄されたと聞いて帰国しま

したが、長女まで捕まるのを恐れた母に追い返され、勉強を続けました。

23歳で帰郷すると「子供の頃からの夢」という湖畔リゾートの立ち上げに奔走しました。場所は眺めが好きな東岸。竹製屋根のレトロな木造建築とスパや無線インターネットなどの最新設備を融合させ、欧州仕込みの接客術を徹底しました。古くからの地元の友人、アウン・ジョウ・スワは「こんな山間の湖畔で、彼女は現代型のリゾート経営を確立した」と驚きます。

「外」への憧れを無批判に持ち込みはしませんでした。外を見たからこそミサーの意識は自信を育てた「内なるもの」に向かいました。「インレー湖についてあまり知らないと感じ、恥ずかしくなりました。」とあります。そして水上集落、民芸品、郷土料理等、かけがえのない地域の伝統や文化を伝える活動を始めました。

若者が住み込みで学ぶ学校を設け、毎年40人に語学や接客の心得、郷土の伝統を教えています。卒業生のナン・キン・メイは「ミサーさんは湖の存在を世界に広めてくれた。」と言い、ミサーは「次の世代が祖国を知らなければ、それは私たちのせいです。」と言っています。貴重な異文化体験と優れたサービスは、毎年1万人を越す宿泊客を吸い寄せているということです。

88年に始まった民主化運動から四半世紀余りで、ついに政権を握ったスー・チーは真の民主化を目指し、ミサーはリゾート経営を通じて祖国の経済発展に貢献しました。昨年11月の総選挙を経て、国会における女性議員の比率は3%から13%へ高まりました。長かった軍政が幕を閉じ、国家として再出発したミャンマーを、強くしなやかな女性たちがけん引するという事です。

日本も終戦から立ち上がってきたのですが、まだまだ軍政が引かれていて情報が入らない国が沢山あって、いまだにこういう風に頑張っている国があるというのはすごい事だなと思います。

皆さんご存知だと思いますが、アウン・サウン・スー・チーさんはノーベル平和賞を貰った人で、彼女の言葉で「常に変化する現実を客観的に見つめ、そこから正しい目的を導き出し、その目的に相応しい正しい手段だけを用いて行動する」ということ

に尽きると言っており、彼女にとって目指すべき目的とは、常に変化する現実の中で優先順位がつけられ、変わり得るものとみなされ、より大切な事は、目的達成のための手段が正しいかどうかであるとされます。長い監禁状態の中から、何とか頑張っている彼女はミャンマーを民主国家へと立ち上げてきている訳ですが、今後のミャンマーの動向が気になり、ミャンマーで頑張っている女性の記事とともに会長の時間の問題にしました。

幹事報告

益子幹事

1. 地区より
 - ・『R財団100周年記念シンポジウム登録申込書』
 - ・『派遣学生8月次報告書』
2. 第2820地区より『鬼怒川水害義援金報告書』
3. 狭山市交通安全対策協議会より『平成28年度秋の全国交通安全運動実施計画書』
4. 航空自衛隊入間基地司令入間航空祭協賛会より『入間航空祭』のご案内
5. 例会臨時変更 所沢中央RC
6. 受贈会報 所座西RC 入間南RC 所沢東RC 新狭山RC
7. 回覧物 広報さやま 第734号

委員会報告

R情報・雑誌

東委員長

横書 P.10『お気づきですか？「ロータリーの友」が少し変わりました』という記事が載っております。佐藤会長年度の7月度の第一回目のRの友の雑誌委員で、このRの友が少し変わりましたというお話しをしたかと思えます。9月号ではサイズが変わったという記事があり、実際、皆さんの会社でパンフレットやポスターを作成される時に、紙のサイズは結構値段に関係があると思えます。新しいRの友誌は営業サイズという紙を裁断する上で無駄がない、とてもエコなサイズなのだそうです。例えば、私の法人でもパンフレットを作る時に、印刷業者さんからこの内容でこの形にした方が紙

の無駄がなくて安いですよと言われると、思わずそちらにってしまった経緯があるので、この辺の事は良くわかるなと思います。勿論、内容の方も充実したと書かれています。ご興味がありましたら読んでみてください。

横書 P. 37 『ロータリーを知るには?』という記事には、新しくロータリーに入ろうかなという方、或いはロータリーの事をよく分からないなという方にご紹介する上で役に立つと思われます。このRの友をちょっと読んでみるといいですよという事が的確に書かれています。因みに皆さんご存知のように、このRの友には横書きと縦書きとがあつて、どこがどう違うのかなと自分なりに思った中で、横書きというのは例えば新聞でいう“全国版”のような内容があつて、縦書きの方は“地域版”のような印象を受けています。

横書 P. 40 『日本のロータリー100周年に備えよう』という記事が出ております。2020年10月20日に日本にロータリーが誕生して100周年という事で、これも先日の卓話で話させて頂いたので思わず嬉しくなつて読みました。

縦書 P. 9 『クラブを訪ねて』には箱根の富士家ホテルを例会場としているとてもリッチな箱根RCの記事が載っております。箱根といえば火山の活動が問題になりましたが、この夏にはロープウェーが全線復活したりと、かなり良いニュースがありました。個人的には毎年夏になると家族で遊びに行くので、この記事はとても興味深く読ませていただきました。

縦書 P. 22 『ロータリーアットワーク』には各クラブの色々な出来事が写真や文章と一緒に紹介されていて、とても身近に感じる面白い記事があります。どちらかというとは私は縦の方を見て身近にあるなと思ひながら読みます。

このようにRの友の縦書きには身近な記事があつて、横書きにはロータリーは世界でこういう事をやっているんだなという事が書いてあつたり、興味深い色々な写真も載っているのです。ロータリーに誘いたいと思う方にはこのRの友はとても良い雑誌だと思ひています。



「外来卓話」・・・・・・・・

一般社団法人タバコ問題情報センター
代表理事 渡辺文学様



『禁煙・嫌煙権運動

35年を振り返って』

(1) タバコの害・受動

喫煙の害について＝世界保健機関（WHO）では、1970年代から加盟各国に対してたびたび勧告・提言を行い、「予防可能な最大の疫病＝タバコ病」と位置づけて、喫煙の害から人々を守るために、政府が先頭に立ってタバコ規制対策を実施するよう呼びかけてきた。

(2) 厚生省は、1987年、『喫煙と健康問題に関する報告書』（いわゆる『タバコ白書』）を刊行、国が初めて喫煙・受動喫煙の有害性について公的な報告を行った。

(3) 大幅に遅れていた日本社会のタバコ規制は、国鉄新幹線に対する「嫌煙権訴訟」を契機に、地下鉄、民間交通機関、航空機、公共の施設、福祉施設、職場などに拡がっていき、2003年には「健康増進法」によって、SA・PA、駅構内、劇場、野球場、競技場、国技館などのタバコ規制が進み、日常生活における受動喫煙被害を受けるケースは、かなり減少してきたことは事実である。

(4) 2004年には、WHOが推進した「タバコ規制枠組条約」（FCTC）が日本の国会でも批准され、翌2005年2月27日に、加盟国が40カ国となった時点で、この国際条約が発効された。この条約の最大の目的は「タバコ消費の削減」であり、その理由として「タバコの害・受動喫煙の害は医学的・科学的に明白である」ということが謳われている。（FCTC＝Framework Convention on Tobacco Control）

(5) 2011年、神奈川県が松沢成文知事の強いリーダーシップによって日本で初の「受動喫煙防止条例」が制定され、その後2013年には兵庫県が2番目の制定を行っている。両県の条例では公的な施設、学校、病院、福祉施設、青少年施設などの喫煙規制はかなり徹底してきた

が、職場、飲食店の規制は、まだまだ不十分である。特に飲食店では、ロイヤル・ホスト、スターバックス、吉野家、松屋、すき屋、ココ壱番などの全国チェーン店では、すでに店内全面禁煙が実施されているが、個人オーナーの飲食店では、恐らくまだ全面禁煙は1割もないと思われる。

- (6) 世界各国では、屋内全面禁煙が定着しており、職場、飲食店、バーでも、タバコを厳しく規制、罰則規定を設けて、喫煙者はもとより、その施設の管理者も罰金を科されるケースがどんどん増えている。特に、オリンピック開催都市では、陳情書にもある通り、すべて法律、条例が施行されており「タバコの煙のないオリンピック」が実施されている。
- (7) これまでに実施された数多くの意識調査・健康調査・アンケートなどによれば、喫煙者の70%以上は「やめられれば、やめたい」と思っており、さらに医学的・心理学的な設問を加えてみると、喫煙者の90%以上が「禁煙願望」を持っていることも明らかとなっている。
- (8) 上記の理由により、「やめたい」と内心考えている喫煙者にとって、灰皿や喫煙できる場所があることは、むしろ喫煙者の禁煙の意志・意欲を大幅に損なっており、世界の趨勢、日本社会の様々な禁煙の取り組みにも、逆効果となっていることを考慮すべきである。「分煙」では防げないタバコ公害)
- (9) 現在、日本の成人喫煙者率は、19.6% (2015年：厚生労働省調べ) であり、これは5人に一人しか吸っていないということである。この数字に、未成年者を加えれば、その比率はさらに低くなり、このことから、多数の非喫煙者を受動喫煙の被害から守るための法律・条例がどうしても必要である。
- (10) 昨年、北海道美唄市(人口2万4千人)の小さな市で、市レベルでは初めて「受動喫煙防止条例」が制定され、本年7月1日から施行されている。アメリカやオーストラリア、カナダなどでも、「国＝政府」の取り組み以前に、地方の州や市レベルでの厳しいタバコ規制対策(例：室内空気清浄法／職場の喫煙規制条

例など)が実施され、それが引き金となって「連邦法」に移行した経過がある。地方自治体の「条例制定」が全国に広がっていけば、国＝政府も、「法律制定」への動きを加速せざるを得なくなり、その結果、多くのタバコ病患者・死者の削減に繋がっていくことが立証されている。

ニコニコボックス



- 佐藤君 本日の外来卓話、一般社団法人タバコ問題情報センター代表理事 渡辺文学様、雨の中お越し下さいまして有難うございます。卓話楽しみにして居りました。宜しくお願い致します。
- 益子君 本日の卓話 渡辺文学様、お話し楽しみにして居りました。宜しく申し上げます。
- 江原君 (社)タバコ問題情報センター代表理事 渡辺文学様、本日はお忙しい中ようこそお出で下さいました。お話しを楽しみにして居りました。宜しくお願い致します。
- 古谷君 前回、前々回欠席しました。また本日都合により早退します。
- 小林君 本日は文学さんにお出まし頂きまして本当に嬉しゅうございます。
- 小島君 渡辺文学様、ようこそお出で頂きました。卓話宜しくお願い致します。
- 清水君 タバコ問題情報センター代表理事 渡辺文学様、本日は足元の悪い中ようこそお越し下さいました。卓話宜しくお願い致します。

※ 次の例会

9月27日(火) 12:30~13:30

第2副SAA：肥沼君 小室君

会員卓話：片山会員

※10月14日(金) フリーマーケット前日準備

10月15日(土) フリーマーケット 10時~14時

会員集合：9時

ご協力お願い致します!!